

専任教員の教育・研究業績（2021年度末、最新5か年分を提出）

所属	職名	氏名	大学院における研究指導担当資格の有無	無
スポーツ科学部	教授	中尾 豊喜		
I 教育活動（2017～2021年度）				
教育実践上の主な業績		年月日（期間）	概	要
1 教育内容・方法の工夫（授業評価等を含む）				
キャリア教育プログラム開発A・B		平成28年9月～平成30年1月	教職大学院の科目、主に生徒指導実践開発コースの学生（現職教員とストリートマスター）が履修。生徒の仕事観や職業観、キャリア意識の醸成、生き方を考える授業を開発するために、船場の大阪企業家ミュージアムを資源に、道徳科、総合的な学習の時間、特別活動を横断的・総合的に組み合わせた学習プログラムを企画し、相互に発表し合い協議を重ねた。	
キャリア基礎A・B・C・D		平成29年4月～7月	「career」、つまり、一個人が人間社会で生活していくという生き方を考える空間として、人生の価値や教育機会などを多面的に問いつながりながら現実社会の課題を扱った。特に裁判例を取り上げながら解説を加えた。履修生の記録には「意見が言いにくい時もカードで表現できた」、「裁判例はもっと知りたい」、「スライドはとても分かりやすかった」等の意見があった。	
学校における心の教育の実践研究A・B		平成29年6月	教職大学院の科目として、オムニバス方式で学校教育における生徒指導やキャリア教育の分野を主に担当した。児童・生徒が学習の見通しを立てた学習を振り返る活動の工夫することが謳われる。このため生き方を考える等から見通しを立て、振り返る活動や将来の生き方と体験学習と関連付けたい授業設計、教育課程上の工夫した提案型の授業を行う。	
教職実践基礎演習ⅢB		平成29年9月～平成30年1月	教育法と学校の実践を考える授業として、初等教育における教育課程上の授業事例を紹介。また、生徒指導要領を資料に、学校生活の規範、いじめ行為や不登校、問題行動、クレーム等について、グループ話し合い活動を通して学修内容を確認し、教職の専門職性やチーム学校の視点からグループ発表を行う。教育法規を実践に照らし考えた。	
特別活動の指導法		平成29年12月～令和元年12月	learning by doingと表現されてきた「為すことによって学ぶ」という特別活動の特質を考えた。市民社会における生活世界の実践にグループで発表し合う。生徒集会を想定して先生役、生徒役に分かれ、指揮、学級別に整列、講話など模擬体験を行う。身体を通して体得することことを考えた。	
特別活動指導論		平成30年4月～令和2年1月	学校た教育を改めて問い、身近な生活実態から現代社会を捉え直した。憲法、教育基本法、学習指導要領の変遷、内容について基本的なところを扱い、日本的な教育の特質としての特別活動の重要性を考えた。グループ別に社会の現実、学級活動、学校行事、部活動をテーマに発表し合う。伝え合い、共に考える授業を目指して実践した。	
教職実践演習		平成30年4月～令和2年1月	教員として児童生徒や保護者、地域社会をどのように捉えているか探り考えた。中等教育をテーマに生徒指導の機能について、生徒規則、いじめ行為、パワハラ、個人情報の保護・公開などを扱う。グループでテーマを定め、調査結果を相互に発表し合った。SDGsをはじめサステイナブルな社会の創造に向けて学校と教師の社会的意義や使命を考えた。	
生徒指導論		令和2年4月～7月	COVID-19感染予防対策としてのオンライン授業と対面授業が組み合わされた授業形態となったが、学生の協力を得ながら展開した。概要はシラバスの一部改め、再燃してきたいわゆる「校則」問題を小学校（制服）、中（頭髪・標準服・髪形など）、高等学校（髪染めなど）の実例や判例を主な内容として生徒指導の意義や方法について思考を深めた。	
2 作成した教科書、教材、参考書				
多主体協働型キャリア学習の方法（ICT）兵庫教育大学教職大学院		平成29年6月	生徒指導実践開発コースの心の教育の一面として進路指導を従来の進路指導と狭義に捉えず、生き方の教育として社会資源を学校に活用して企業、大学、学校PTA、NPO、学生等で協働したプロジェクト型の学習に位置づけた実践の方法を示したものの改訂版。	
生徒指導と進路指導（ICT）兵庫教育大学教職大学院		平成29年6月	生徒指導実践開発コースの授業用。心の教育の一つとして進路指導を広く捉え、社会資源を学校に活用して企業、大学、学校PTA、NPO、学生ボランティア等で協働したプロジェクト学習型キャリア教育に実践方法を示した続々編。	
共著：『小・中・高等学校新学習指導要領準拠版 21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む 特別活動の理論と実践』学術研究出版		平成30年4月	学習指導要領改訂に伴い「資質・能力」の三つの柱、領域の三つの視点、発達段階に応じたキャリア学習と集団形成との関係を説く。中学校の領域「特別活動」を中心に生徒指導やキャリア学習の方法を含め高等学校についても言及した。	
共著：『三訂 キーワードで拓く新しい特別活動』東洋館出版社		令和元年8月	新学習指導要領に準拠した特別活動の辞書。担当箇所「学級風土 Class climate」で、主体的・対話的で深い学びの実現には学級における人間関係形成が重要であり、その実現には日頃の学級活動の重要性を強調して著した。特に毎朝の学級活動や帰りの学級活動を丁寧に行うことを追記した。	
編著：『小・中・高等学校 総合的な学習・探究の時間の指導』学術研究出版		令和2年1月	主に総合的な学習の時間の指導法を述べた。この時間の目標や特質、探究の過程と特別活動の各内容項目と横断的、総合的な連携の方法とその年間指導計画を論じた。実践編では、進路先調べ学習（キャリア学習・人間としての生き方）、生徒規則と子どもの権利条約を取り上げて、その意義、単元学習の指導案と指導計画、評価の視点を示した。	
単著：『規則と生徒指導』関西学院大学出版会		令和2年3月	公立中学校の学校内部規則である生徒規範（生徒心得、生徒規則）について、歴史的な検討や裁判例を分析して教育法社会学的な視座から序説を述べた。実際に用いられた「生徒手帳」の内容分析から課題を見出し、生徒自治の観点から理想的な生徒規則の見直し方法を提案した。生徒側として自己指導能力、集団としての自治能力の醸成について扱う。	
編代著：『総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法』東洋館出版社		令和2年9月	学習指導要領に新たに示された目標と内容に基づき、全校種の「総合的な学習の時間」や「総合的な探究の時間」の指導法、加えて「特別活動」の指導法について全校種の教育実践事例を示してテキストとして編んだ。なお、実践事例の収録にかかわり研究者や各校種の教員より協力を得た。また、関連法規、判例文、ガイドライン等を資料に付した。	
編著：『小・中・高等学校 特別活動と総合的な学習・探究の理論と指導』学術研究出版		令和2年9月	小中高等学校の特別活動、総合的な学習の時間、総合的な探究の時間の指導について理論とその方法について述べた。具体的には、第9章「総合的な学習の基礎・基本」と第11章「総合的な学習の学習指導案の作成」を担当した。また、コラムとして「進路指導とキャリア教育」、「生徒指導と特別活動」を著した。	
大阪体育大学「運動部活動指導者養成プログラム」の部分		令和3年3月	学校「部活動」や「地域部活動」の部活動指導員・外部指導者・学生ボランティアとして、学生を指導者養成するためのプログラム教材を作成した。養成セミナーの1コマ「学校教育及び学習指導要領（模擬）」を作成した。現在、「裁判例にみる運動部活動の諸課題Ⅰ」をくくる。	

3 教育方法・教育実践に関する発表、講演等					
教員校内研修会（大阪市立晴明丘小学校）	平成29年6月	国際理解教育とキャリア学習をテーマに、総合的な学習の時間を活用したグループ活動を通して自己理解を促す研究授業を参観した。事後の研修会で講評を行う。			
教員校内研修会（関西文化芸術高等学校）	令和元年8月	「今日の教育改革における総合的な探究の時間と特別活動」と題し、高等学校学習指導要領の改訂に伴って、これからの中等教育について総合的な探究の時間や特別活動に期待されていることについて説いた。			
教員校内研究会（高槻市立北日吉台小学校）	令和2年12月	2年生生活科（テーマ：キャリア教育）の研究授業参観後の講義。小学校特別活動の学級活動において内容（3）に「一人一人のキャリア形成と自己実現」の項目が新設されたこと、またキャリア教育は各教科等の学校教育全体を通して特別活動を要として実践することなど、幼児期から中等教育後期の子ども期を一貫した生き方にかかわる教育実践であることを説く。			
教員校内研究会（神戸第一高等学校）	令和3年6月～7月（第1回：オンデマンド） 令和3年7月（第2回：対面）	第1回では、校内の全教職員を対象にオンデマンド方式で受講して、いじめ四層構造論、ホームルームにおける個と集団、教育の現代的課題や学校教育の目的や社会的な使命を確認した。第2回では、「生徒理解」や「指導における教師としての葛藤」をテーマにグループワークを行い、校内における認識の共有化を図り、ハラスメント事例を基に人権意識のさらなる社会的な高まりを確認した。			
4 その他教育活動上特記すべき事項					
特記事項なし					
II 研究活動（2017～2021年度）					
著書（単著）					
書名	著者	総頁数	発行所	発行地	発行年月
規則と生徒指導	中尾豊喜	総152頁	関西学院大学出版会	兵庫県西宮市	令和2年3月
著書（共著・分担執筆）					
題目／書名	著者／編者	初（始）頁～終頁	発行所	発行地	発行年月
生徒会活動の目標・内容・指導／21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む特別活動の理論と実践	中尾豊喜／中園大三郎・松田修編	142頁～150頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	平成30年4月
学校行事の目標・内容・指導／21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む特別活動の理論と実践		151頁～158頁			
教育課程外の「部活動」／21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む特別活動の理論と実践		158頁～163頁			
特別活動と生徒指導、特別活動とキャリア教育／21世紀社会に必要な「生き抜く力」を育む特別活動の理論と実践		176頁～186頁			
学級風土（class climate）／三訂 キーワードで拓く新しい特別活動	中尾豊喜／日本特別活動学会編	155頁	東洋館出版社	東京都文京区	令和元年8月
各学校において定める目標及び内容／小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導	中尾豊喜／中園大三郎・松田修・中尾豊喜編	30頁～36頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	令和2年1月
「総合的な学習の時間・探究の時間」の指導計画／小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導		64頁～65頁, 70頁, 73頁～79頁			
「総合的な学習の時間・探究の時間」の学習指導／小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導		80頁～95頁			
「総合的な学習・探究の時間」を充実する体制づくり／小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導		102頁～112頁			
実践事例（小・中・高等学校）／小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導		155頁～159頁, 166頁～169頁			
はじめに／こどものキャリア形成	中尾豊喜／中尾豊喜編	3頁～5頁	幻冬舎ルネッサンス新社	東京都渋谷区	令和2年4月
第1章「私たちの生活世界」／こどものキャリア形成		7頁～24頁			
第5章「家庭、人間、学校、こども」／こどものキャリア形成		157頁～186頁			
むすびに／こどものキャリア形成		187頁～189頁			
はじめに／総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法	中尾豊喜／中尾豊喜編	2頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	令和2年1月
第1章「学校教育の確認」／総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		10頁～17頁			
第2章「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間の目標と内容」／総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		20頁～29頁			
多主体協働によるプロジェクト型学習／総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		116頁～137頁			

通学域で実践するキャリア教育「お仕事体験」(教育課程外) / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		119頁～123頁					
生徒手帳(生徒規則)の改正と子どもの権利条約 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法	中尾豊喜 / 中尾豊喜編	124頁～130頁	東洋館出版社	東京都文京区	令和2年9月		
第4章「特別活動の目標と内容」 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		142頁～155頁					
個の自律と集団規律訓練としての1年生「宿泊行事」、他 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		174頁～176頁					
第7章「18歳までの保育・教育の一貫性」 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		216頁～238頁					
第8章「総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動のこれから」 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		240頁～250頁					
資料編 / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		252頁～317頁					
むすびに / 総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法		318頁					
第9章「総合的な学習の基礎・基本」 / 小・中・高等学校 特別活動・総合的な学習の理論と指導法		162頁～173頁					
第11章「総合的な学習の学習指導案の作成」 / 小・中・高等学校 特別活動・総合的な学習の理論と指導	中尾豊喜 / 中園大三郎・松田修・中尾豊喜編	184頁～190頁	学術研究出版	兵庫県姫路市	令和2年9月		
コラム「進路指導とキャリア教育」 / 小・中・高等学校 特別活動・総合的な学習の理論と指導		60頁					
コラム「生徒指導と特別活動」 / 小・中・高等学校 特別活動・総合的な学習の理論と指導		76頁					
はじめに / こどものキャリア形成【電子版】		3頁～5頁					
第1章「私たちの生活世界」 / こどものキャリア形成【電子版】		7頁～24頁					
第5章「家庭、人間、学校、こども」 / こどものキャリア形成【電子版】	中尾豊喜 / 中尾豊喜編	157頁～186頁	幻冬舎ルネッサンス新社	東京都渋谷区	令和3年5月		
むすびに / こどものキャリア形成【電子版】		187頁～189頁					
電子版に寄せて / こどものキャリア形成【電子版】		196頁					
原著論文 (審査機関を有する学術誌に掲載の論文に限る。学会抄録等は含めない。)							
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月		
「能力を伸ばし」、「資質を養う」を再考する - 教育基本法改正後の学習指導要領等の内容比較を通して -	中尾豊喜	大阪キリスト教短期大学紀要 2017	第57集	35頁～52頁	平成29年12月		
「総合的な学習の時間」における「主体的・対話的で深い学び」に関する一考察 - 異なる多様な他者との対話の実現に向けて -	山中翔・山内優佳・渡邊満・坂越正樹・中尾豊喜	広島化学園大学人間健康学紀要『人間健康学研究』2019	Vol. 2	31頁～44頁	令和元年12月		
保育者養成段階におけるキャリア形成支援 - 質問紙調査結果の分析から早期離職者を出さないための資質を考える -	堀千代・中尾豊喜・川村高弘・櫻本和也	常磐会短期大学紀要 2019	Vol. 48	57頁～66頁	令和2年3月		
「特別活動に関する指導力」と教師の専門性	中尾豊喜	日本教師教育学会第10期研究部課題研究報告書	課題研究 I	42頁～53頁	令和3年3月		
総説							
題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月		
「しつけ」最高裁判例にみる家庭における親の子に対する教育と学校	中尾豊喜	教職の先達	第3号	58頁～61頁	平成29年8月		
その他 (「症例報告」、「実践報告」、「研究ノート」等区分を記入)							
区分	題名	著者	誌名	巻	初(始)頁～終頁	発行年月	
研究ノート	上寺久雄教育道と現代教育改革 - 実社会や実生活に照らした探究活動の意義再考	単	中尾豊喜	学校教育研究紀要(上寺久雄先生追悼記念)	vol. 3	40頁～49頁	令和元年8月
学会発表 (「国際学会」、「国内学会(一般演題、シンポジウム、課題研究、講演等)」、「研究会」等区分を記入)							
区分	年月	学会名	演題名	場所	発表者名		
国内(他)	平成29年6月	日本道徳教育方法学会 第23回大会	「道徳」教育実践上の課題と迷い - アンケート調査と判例分析から	香川大学	中尾豊喜		

国内(講演)	平成29年6月	大阪市立晴明丘小学校 校内研修会	国際理解教育の研究授業、キャリア教育	大阪市立晴明丘小学校	中尾豊喜
国内(他)	平成29年10月	日本教育社会学会 第69回大会	義務教育における児童・生徒の「能力」及び「資質」に関する一考察	一橋大学	中尾豊喜
国内(他)	平成29年11月	日本生徒指導学会 第18回大会	子どもの児童期における意見表明の有用年齢仮説と親の自律性ー最高裁判例の分析から	岡山大学	中尾豊喜
国内(他)	平成30年5月	日本保育学会 第71回大会	保育者養成段階におけるキャリア形成支援(1)ー保育者の「資質」を養う	宮城学院女子大学	◎中尾豊喜、川村高弘、堀千代
研究会	平成30年5月	教育スポーツ法研究会①	日本におけるパワハラ裁判例の現状から今後の方向異性を読み解く	ライト最例ハウス	中尾豊喜
国内(他)	平成30年6月	日本生活科・総合的教育学会 第27回全国大会北海道大会	「総合的な学習の時間」の教育方法試みー生前期と現在の比較を通して	札幌市立北辰中学校	中尾豊喜
国内(他)	平成30年8月	日本特別活動学会 第27回大会	中学校特別活動における学級活動の内容「(3)一人一人のキャリア形成と自己実現」に関する一考察	武蔵野大学	中尾豊喜
研究会	平成30年9月	第3回WJ裁判例研究会	教師の非違行為に関する裁判例分析	ライト最例ハウス	中尾豊喜
国内(他)	平成30年9月	日本教師教育学会 第28回研究大会	教員の問題行為に関する裁判分析(1)ー教員「資質」の再検討	東京学芸大学	中尾豊喜
国内(他)	平成30年11月	日本生徒指導学会 第19回大会	生徒指導の機能と特別活動における学級活動の再考ー平成29年3月告示「中学校学習指導要領」の場合	同志社大学	中尾豊喜
国内(他)	平成30年12月	日本キャリア教育学会 第40回研究大会	キャリア・パスポート試作「私と私たちの今までの今から」の開発ー教育の目的、義務教育の目的、中学校学習指導要領(平成29年告示)を視座に	早稲田大学	中尾豊喜
国内(他)	平成30年12月	日本スポーツ法学会 第26回大会	スポーツ基本法と教育基本法の射程領域の探究(1)ー中学校学習指導要領における保健体育科、道徳科、特別活動の視座より	同志社大学	中尾豊喜
国内(他)	平成31年3月	日本部活動学会 第2回大会	部活動の今日的な意義を考えるー中学校学習指導要領(平成29年告示)「特別活動」の視点	大阪大学	中尾豊喜
研究会	平成31年4月	日本教師教育学会課題研究1 第6回研究大会	日本教師教育学会編『教師教育ハンドブック』第9章「スクールソーシャルワーカー」「スクールカウンセラー」、第10章「チーム学校」の整理と課題提起	学習院大学	中尾豊喜
国内(他)	令和元年6月	日本生活科・総合的教育学会 第28回全国大会大分大会	いじめ防止対策学習教材の教育実践意義に関する考察から「総合的な学習の時間」の射程を問う	佐伯市立渡町台小学校	中尾豊喜
国内(他)	令和元年8月	日本生徒指導学会 第20回記念鳴門大会	生徒個々がつながる集団形成の意義を再考するー規範の生成過程を事例に	鳴門教育大学	中尾豊喜
国内(講演)	令和元年8月	関西文化芸術高等学校 校内研修会	高等学校学習指導要領の改訂、総合的な探究の時間、特別活動	関西文化芸術高等学校	中尾豊喜
研究会	令和元年9月	日本特別活動学会 歴史研課題研究会	「ゆとり」の教育と児童生徒主体の学校生活づくりの課題(試論)	順天堂大学	中尾豊喜
国内(課題研究)	令和元年9月	日本特別活動学会 第28回大会 課題研究	集団や社会の形成者を育む特別活動「ゆとり」の教育と児童生徒主体の学校生活づくりの課題	沖縄大学	中尾豊喜
国内(他)	令和元年9月	日本特別活動学会 第28回大会 自由研究	「集団や社会の形成者」に関する一考察ー地域が異なる2つの中学校の事例から	那覇市立松川小学校	◎皆川俊一、中尾豊喜
国内(他)	令和元年10月	日本教育行政学会 第54回大会	子どもの育成は 母親の専権なのかー改正ハーグ条約実施法を通して	埼玉大学	中尾豊喜
国内(他)	令和元年11月	日本キャリア教育学会 第41回研究大会	キャリア教育の射程を問う実践としてー教育課程外で取り組む小・中学校PTA連携「お仕事体験」	長崎大学	中尾豊喜
国内(他)	令和2年7月	日本部活動学会 第3回大会	体育系大学は何かができるか①ーサステイナブルな運動「部活動」運営体制の可能性を探る	兵庫教育大学(web)	◎中尾豊喜、「運動部活動改革プラン」大阪体育大学プロジェクトチーム
研究会	令和2年7月	日本教師教育学会課題研究1 研究会	教育専門職者教師の(行為の知)の揺らぎー教育法制と教育実践としての生徒指導や特別活動等の視座より(案)	筑波大学(web)	中尾豊喜
研究会	令和2年11月	日本教師教育学会課題研究1 研究会	学校部活動改革から教師の専門性を考えるー特別活動と生徒指導の視座より(案)	国立教員支援機構(web)	中尾豊喜
国内(講演)	令和2年12月	高槻市立北日吉台小学校 校内研究会	キャリア教育	高槻市立北日吉台小学校	中尾豊喜
国内(シンポ)	令和3年2月	スポーツ庁事業委託「運動部活動改革プラン」大阪体育大学シンポジウム	大阪体育大学が取り組む運動部活動改革：学生指導者育成・派遣の試み	大阪体育大学(web)	「運動部活動改革プラン」大阪体育大学プロジェクトチーム

国内(他)	令和3年3月	日本部活動学会 第4回大会	運動部活動指導者として学生を養成するシステム案について (現状報告)	白梅学園大学 (web)	中尾豊喜
-------	--------	---------------	------------------------------------	--------------	------

国内(講演)	令和3年6月～7月	神戸第一高等学校 第1回校内研修会	いじめ四層構造と学校教育	神戸第一高等学校(オンデマンド)	中尾豊喜
国内(講演)	令和3年7月	神戸第一高等学校 第2回校内研修会	最新ハラスメント基準 生徒理解や指導のジレンマ	神戸第一高等学校	中尾豊喜
国内(他)	令和3年8月	令和3年度ピアメディエーション学会総会	教員養成におけるピアメディエーションの意義と近未来 ー大体大「グッドコーチ養成セミナー2021」の事例を通して	なにも橋法律事務所 (web)	中尾豊喜
国内(他)	令和4年3月	日本部活動学会 第5回大会	部活動の全員参加と慣習法 ー生徒会規則と顧問の内規に注目して	東海学園大学 (web)	©中尾豊喜、神谷拓、齋藤光、松世聖矢、中島憲、Mr. Peki-chan

科学研究費等の取得状況

科学研究費/その他の助成金/外部資金

区分	種類	題目	代表・分担の区分	期間	助成額(期間内の総額)
外部資金	スポーツ庁事業委託	令和元年度 運動部活動改革プラン	分担	令和元年7月～令和2年3月	¥5,000,000-
外部資金	スポーツ庁事業委託	令和2年度 運動部活動改革プラン	分担	令和2年10月～令和3年3月	¥5,000,000-
外部資金	日本部活動学会共同研究プロジェクト	部活動の実態と学校慣習法の関連性	代表	令和3年4月～令和5年3月	¥100,000-
外部資金	大阪府泉大津市よりスポーツ庁事業の再々委託	令和4年度 泉大津市地域運動部活動推進事業	代表	令和4年5月～令和5年2月	¥850,000-

特許

特許名称	発明者/出願人	出願日/出願番号	公開番号	取得した場合 ⇒	公告・特許番号	国
特記事項なし						例: 日本

III 加入学会および社会における活動 (2017～2021年度)

期 間	内 容
加入学会	
平成19年8月～現在に至る	日本生徒指導学会 会員
平成19年8月～現在に至る	日本道徳教育方法学会 会員
平成23年3月～現在に至る	日本教育社会学会 会員
平成23年3月～現在に至る	日本教育行政学会 会員
平成23年3月～現在に至る	日本キャリア教育学会 会員
平成27年4月～現在に至る	日本生徒指導学会関西地区研究会 会員
平成27年6月～現在に至る	日本教師教育学会 会員 (「課題研究1研究会」研究委員、平成30年11月～現在に至る)
平成28年6月～現在に至る	日本ベスタロッター・フレーター学会 会員
平成29年7月～現在に至る	日本特別活動学会 会員 (課題研究プロジェクトD「特別活動研究の研究史的メタ分析と特別活動言論の整理」研究委員、平成29年10月～現在に至る)
平成30年1月～現在に至る	日本生活科・総合的教育学会 会員
平成30年3月～現在に至る	日本スポーツ法学会 会員
平成30年3月～現在に至る	日本部活動学会 会員 (第4回研究会実行委員会委員長) (第3期理事)
令和2年8月～現在に至る	日本教育法学会 会員
社会的活動	
平成29年4月～令和3年3月	ライト最例ハウス判例研究会 学校教育部門 座長
平成29年4月～現在に至る	大阪市立晴明丘小学校 学校評議員、学校協議会委員
平成30年3月～現在に至る	大阪弁護士会スポーツ問題研究会 オブザーバー
平成30年4月～現在に至る	関西文化芸術高等学校 第三者評価委員
平成30年5月～令和3年3月	WJ裁判例研究会 会員
平成30年8月	ゼミ生と共に西日本豪雨災害支援ボランティア活動 (広島県)
平成31年4月～令和元年12月	『小学校・中学校・高等学校 総合的学習・探究の時間の指導』(学術研究出版) 編集委員
平成31年5月～現在に至る	日本部活動指導研究協会 会員
令和元年5月～令和2年3月	『こどものキャリア形成 ー保護者・教育者と考える「資質・能力」』(幻冬舎ルネッサンス新社) 編集代表
令和元年8月	関西文化芸術高等学校 校内教員研修会 (今日の教育改革における総合的な探究の時間と特別活動) 講師
令和2年2月～8月	『総合的な学習の時間・総合的な探究の時間と特別活動の方法』(東洋館出版社) 編集代表
令和2年2月～現在に至る	大阪市立小中学校スクールサポーター等の学生支援
令和2年2月～3月	大阪市「令和2年度 阿倍野区子どもの体力向上支援事業」実施事業者選定委員

令和2年3月	『日本経済新聞』2020年3月30日朝刊 <風紋>「部活指導、学生生活を」取材記事				
令和2年4月～9月	『小・中・高等学校 特別活動と総合的学習・探究の理論と指導』（学術研究出版）編集委員				
令和2年5月～令和3年1月	神戸第一高等学校令和2年2月4日発生事案第三者委員会 委員				
令和2年12月	高槻市立北日吉小学校 校内教員研究会（キャリア教育）講師				
令和2年12月	『日本経済新聞』2020年12月28日朝刊 <風紋>「部活動と体罰、根絶への道遠く 対症療法の効果に疑問」取材記事				
令和2年12月～令和3年2月	大阪市「令和3年度 中央区子どもの体力向上支援事業」実施事業者選定委員				
令和2年12月～令和3年2月	『こどものキャリア形成』【電子書籍版】（幻冬舎ルネッサンス新社）編集代表				
令和3年3月	『読売新聞』2021年3月8日夕刊 <編集委員の視点>「広がる『部活動指導員』」取材記事				
令和3年2月～3月	大阪市「令和3年度 東成区子どもの体力向上支援事業」実施事業者選定委員、座長				
令和3年7月	『読売新聞』2021年7月24日朝刊「大阪 スポーツ 地域で指導視野 教員の負担軽減*世代超え楽しむ場に」取材記事				
令和3年8月～令和4年3月	大阪府泉大津市「地域運動部活動推進事業」（スポーツ庁受託事業）検討委員会 委員長				
令和3年12月	『読売新聞』2021年12月23日夕刊 <幸せランチ>取材記事				
令和4年3月	『日本経済新聞』2022年3月15日夕刊 <キャンパス探訪>「大阪体育大 グッドコーチ養成セミナー 部活動正しい知識で指導」院生・学部生と共に取材記事				
令和4年4月	『朝日新聞』2022年4月9日朝刊 <縦横無尽>「部活動 生徒の意思は」取材記事 『朝日デジタル』同日、同上記事の詳細内容掲載（中小路徹記者による取材）				
IV 管理活動（2018～2021年度）					
期 間	内 容				
委員会活動					
平成30年4月～現在に至る	全学教職課程委員会委員、体育学部教職課程委員会委員				
平成30年4月～令和3年3月	キャリア支援委員会委員				
平成31年4月～令和3年3月	体育学部研究委員会委員				
特別プロジェクト活動					
令和元年7月～令和3年3月	スポーツ庁委託「令和元年度 運動部活動改革プラン」大阪体育大学研究プロジェクトチーム・リーダー				
令和2年10月～令和3年3月	スポーツ庁委託「令和2年度 運動部活動改革プラン」大阪体育大学研究プロジェクトチーム・リーダー				
令和3年4月～令和5年3月	学内特別予算プロジェクト（令和3年～4年度）「運動部活動改革プラン」チームリーダー				
V クラブ活動の指導業績（2019～2021年度）					
1. 指導クラブ名	ローイング同好会 部	2. 役職	部長（2019年度～）	3. 部員数	1 人
4. 現場指導の頻度	④ ① ほぼ毎日 ② 週3日 ③ 週1日 ④ 現場指導はしていないが、計画や内容の指導 ⑤ 全く関与していない				
5. 合宿指導	年間合宿回数：	0 回	延べ日数：	0 日	
6. クラブの競技力向上への取り組み	③ ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
7. クラブの教育及び部員の学習への取り組み	② ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
8. 部員の就職指導への取り組み	① ①積極的に取り組んでいる ②ある程度取り組んでいる ③あまり取り組んでいない ④全く取り組んでいない				
9. 年間の引率公式大会名	大会名	期 間	場 所		
	同好会として生成期のため、特になし				
10. クラブ戦績（全日本選手権8位以上、関西選手権4位以上、関西1部リーグ3位以上の団体・個人の戦績を記入して下さい。）					
開 催 期 間	大会名	成 績	場 所		
	同好会として生成期のため、特になし				
VI 賞罰（職務に関する賞罰）					
年 月	受賞等機関名	内 容		備 考	
特記事項なし					